

宮城県医療的ケア児等支援の 現状と課題について

令和5年8月9日

宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふぁ



宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

宮城県医療的ケア児等相談支援センターの目指すところ

子ども・家族や地域と、共に考え、共に動き、共に創る

医療的ケア児である前にひとりの子どもとして
医療的ケア者である前にひとりの生活者として
大切な故郷での「生きたい」を支える



宮城県医療的ケア児者実態調査について

1. 調査の目的

宮城県における、医療的ケア児（者）の実数
及び、災害支援の現状を調査する



宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

2. 市町村調査概要

① 調査対象

・ 県内35市町村を対象に、令和5年1月1日現在で市町村に居住している、医療的ケア児支援法に基づく医療的ケア児新判定スコアにある医療的ケア14項目を、日常的に必要とする者（成人期は20歳前受傷者のみ）

② 調査方法

・ 記述式アンケート調査 ・ ヒヤリング調査

③ 回答状況

35市町村中35市町村より回答を得た（回答率100%）

④ 主な調査項目

1. 市町村基礎情報 2. 医療的ケア児者数
3. 医療的ケア児者支援状況 4. 医療的ケア児者受け入れ資源状況
5. 災害時支援
（5カテゴリー 15項目）

・ ヒヤリング調査 9項目

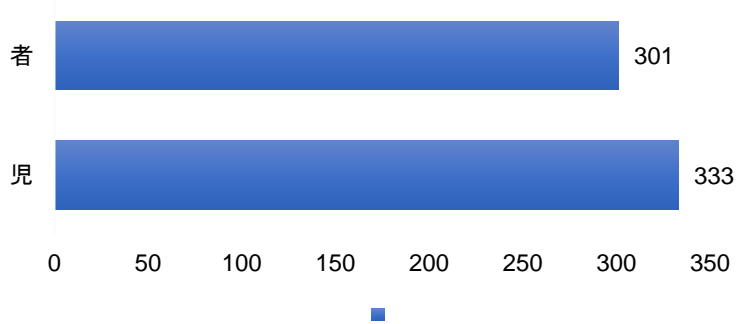




宮城県医療的ケア児等相談支援センター
 Miyagi Prefecture Medical Care Children & Families Support Center
 For medical care children & families, we will practice
 our profession with conscience and dignity.
 CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

3. 医療的ケア児者はほぼ同じ割合の人数が県内に存在する

宮城県 医療的ケア児者数(総数)

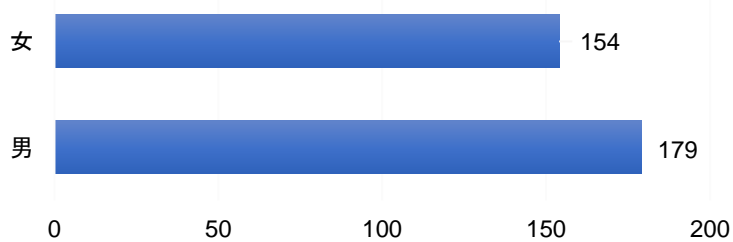


医療的ケア児者数

児	333
者	301

合計 634名

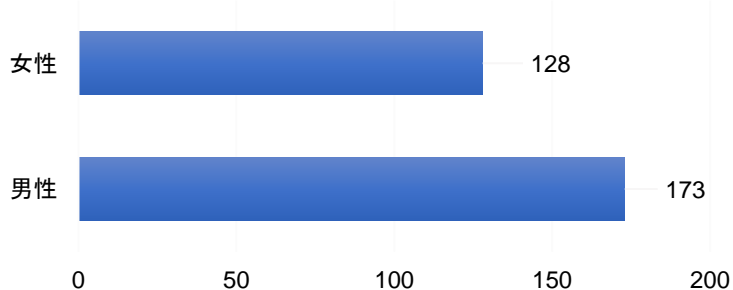
宮城県 医療的ケア児数(男女別)



医療的ケア児

男	179
女	154
総数	333

医療的ケア者数(20歳前受傷男女別)



医療的ケア者

男	173
女	128
総数	301



宮城県医療的ケア児等相談支援センター

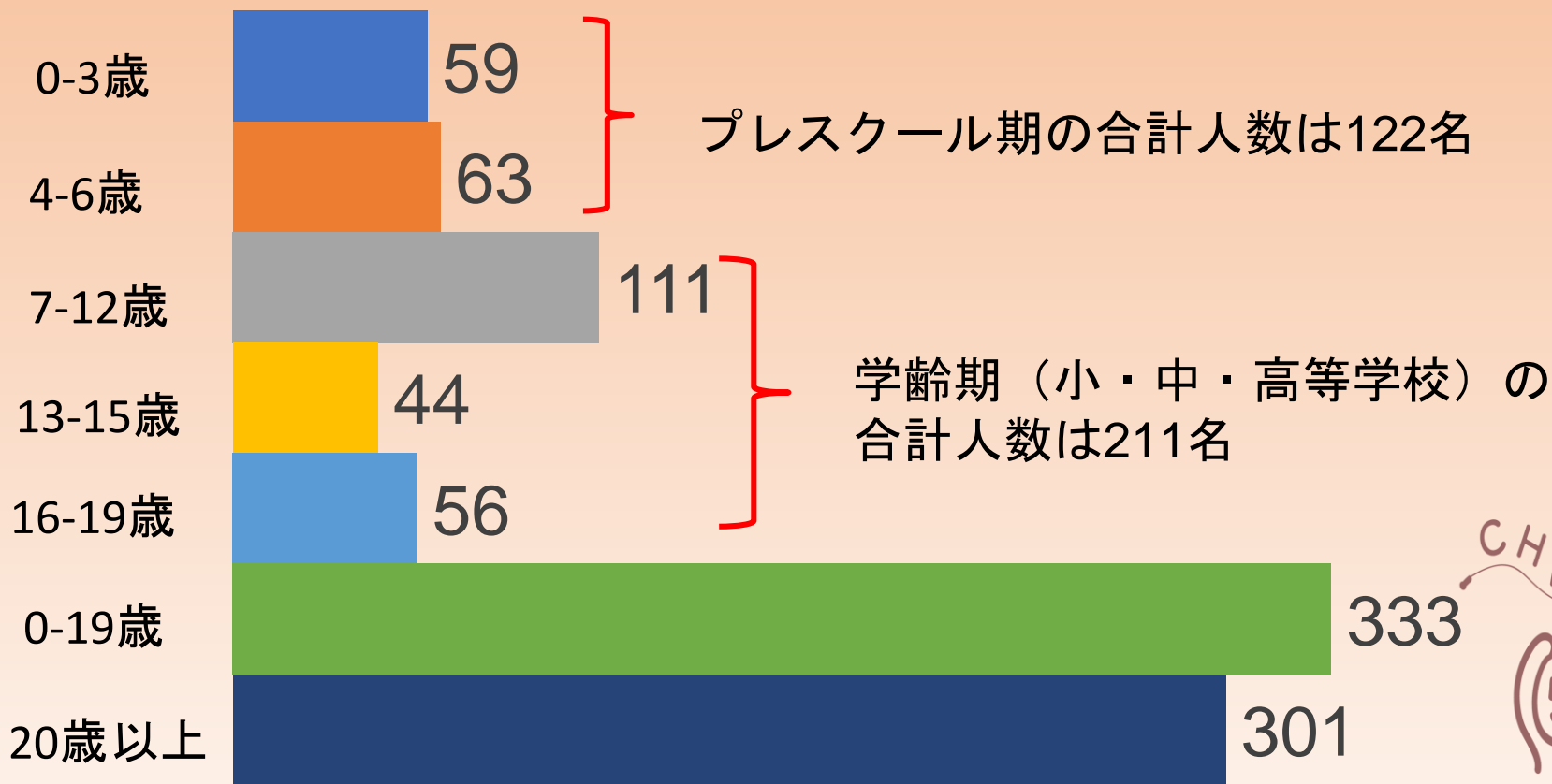
For all medical care children & families, we will practice

my profession with conscience and dignity.

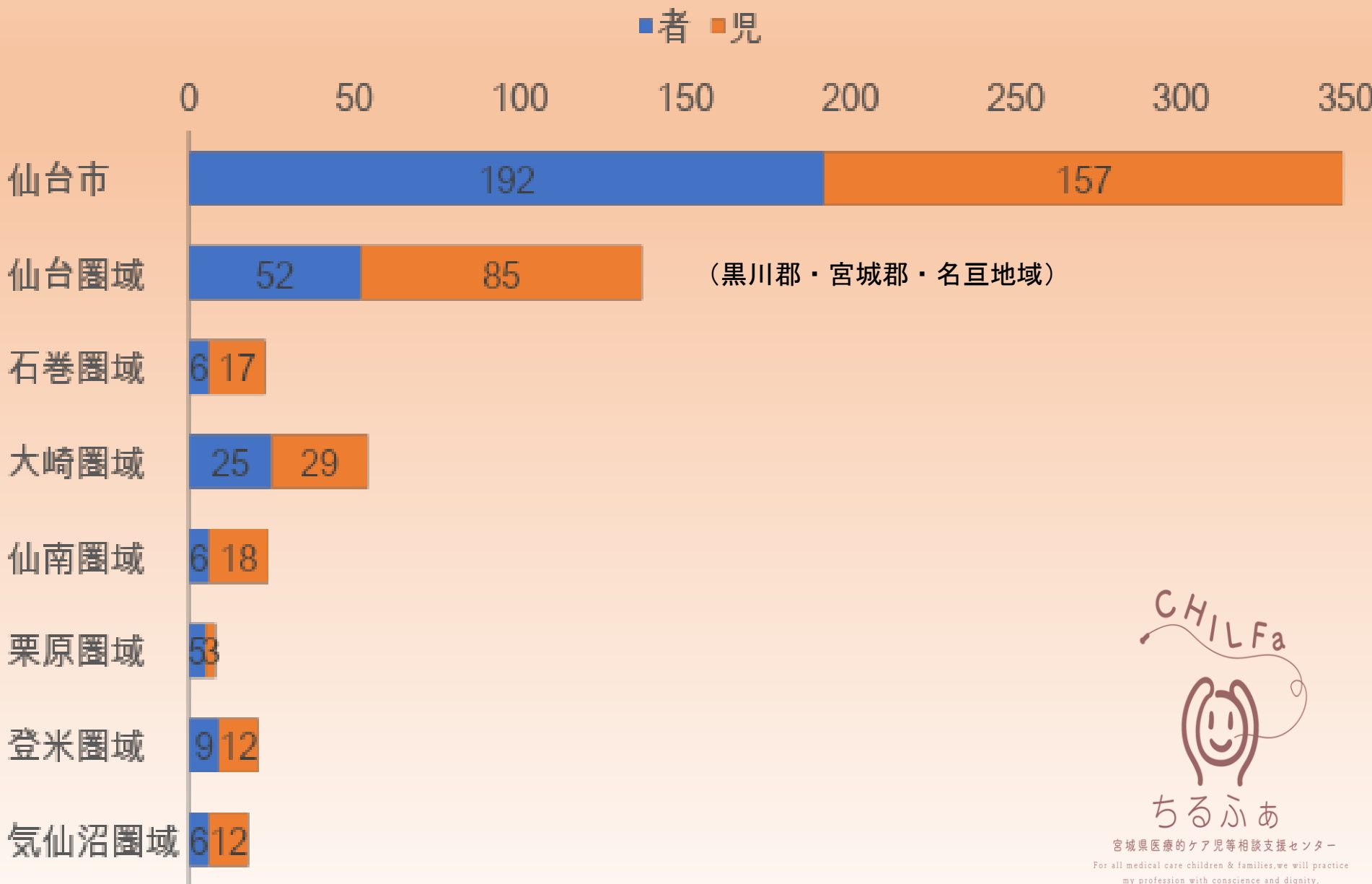
CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

4. どの年代も満遍なく存在する。

0 100 200 300



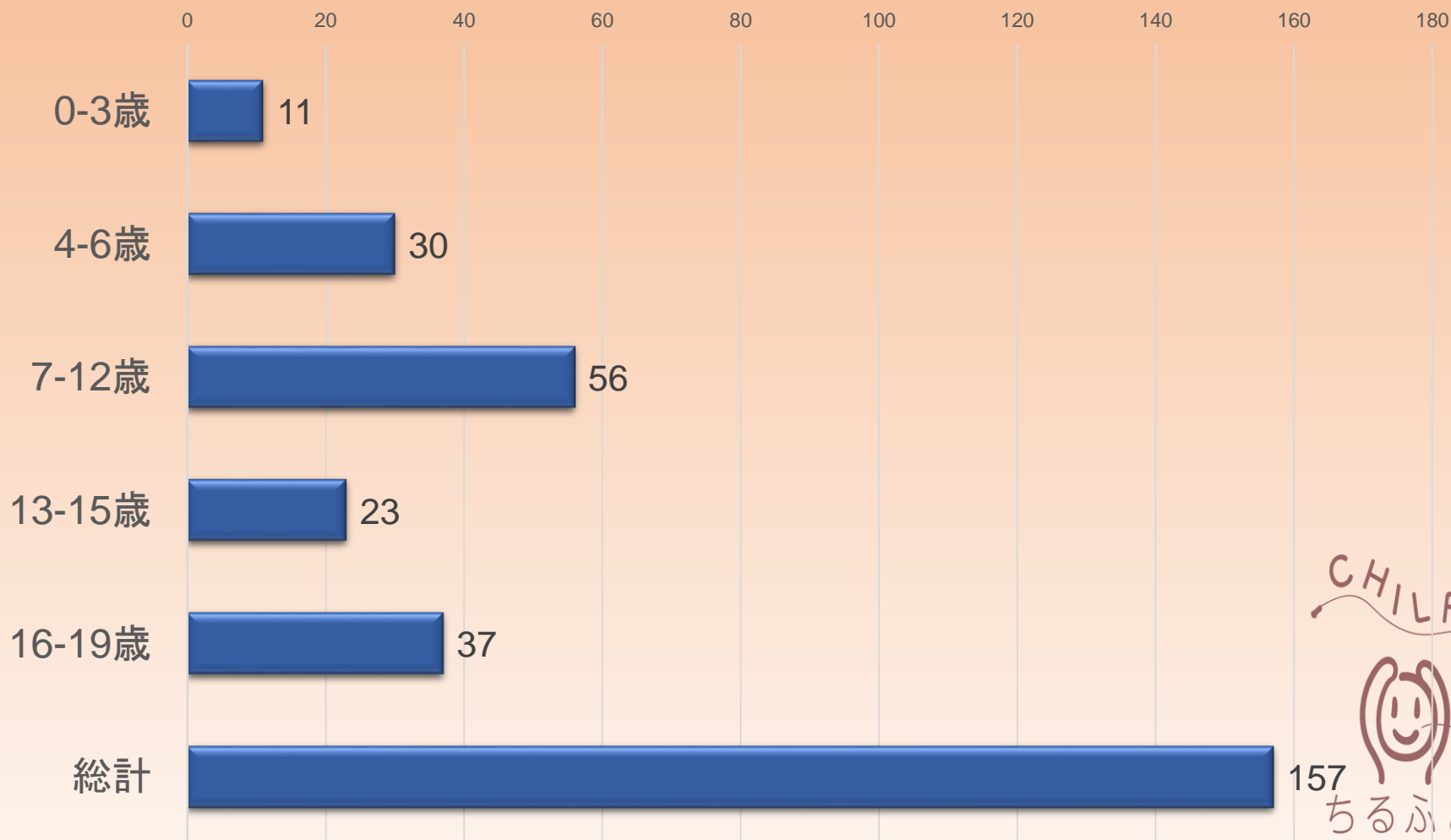
5. 圏域別医療的ケア児者数



宮城県医療的ケア児等相談支援センター
For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.
CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

6. 年代別医療的ケア児数（圏域）

仙台市

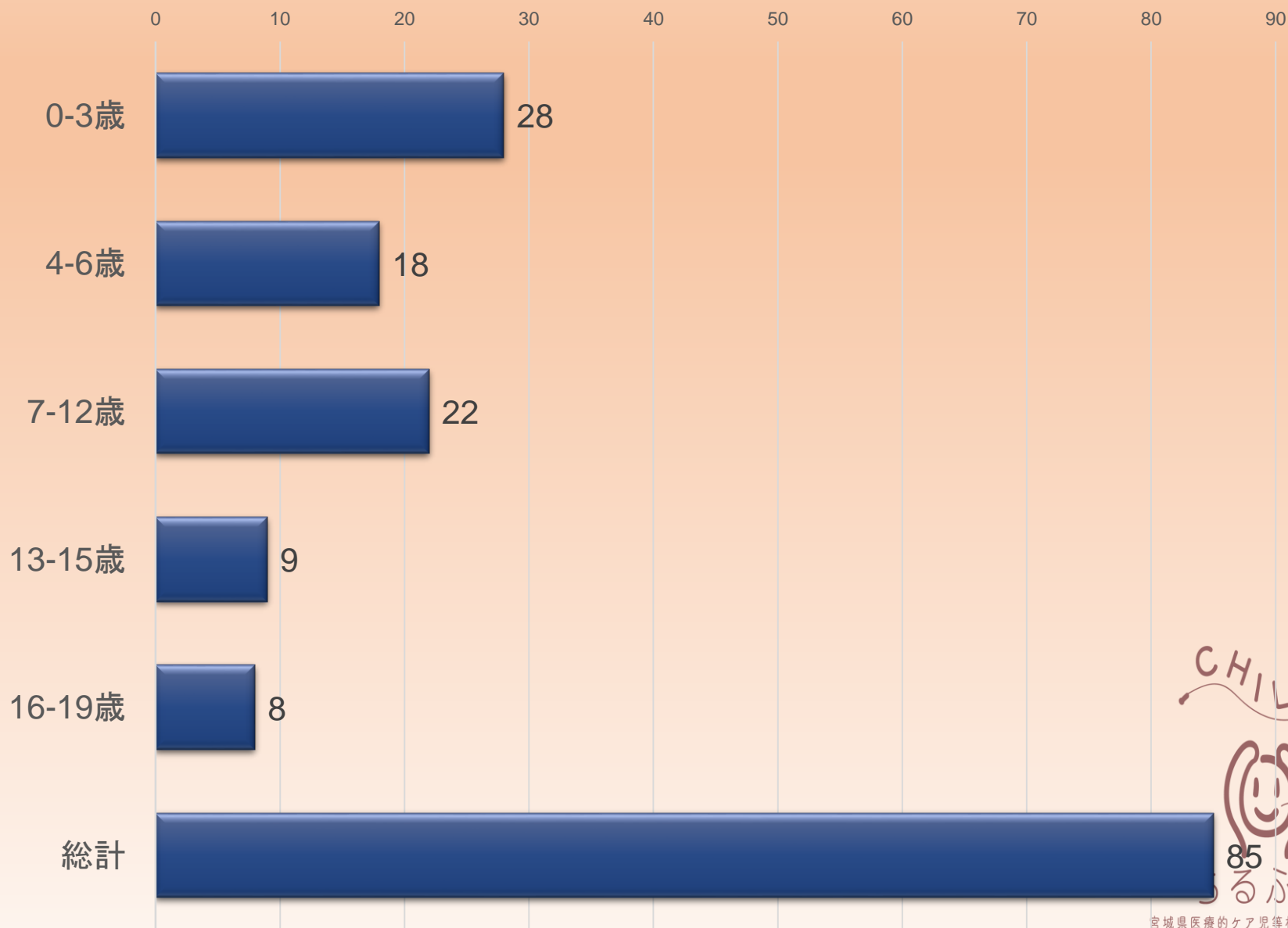


宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

仙台圏域(黒川郡・宮城郡・名亘地域)

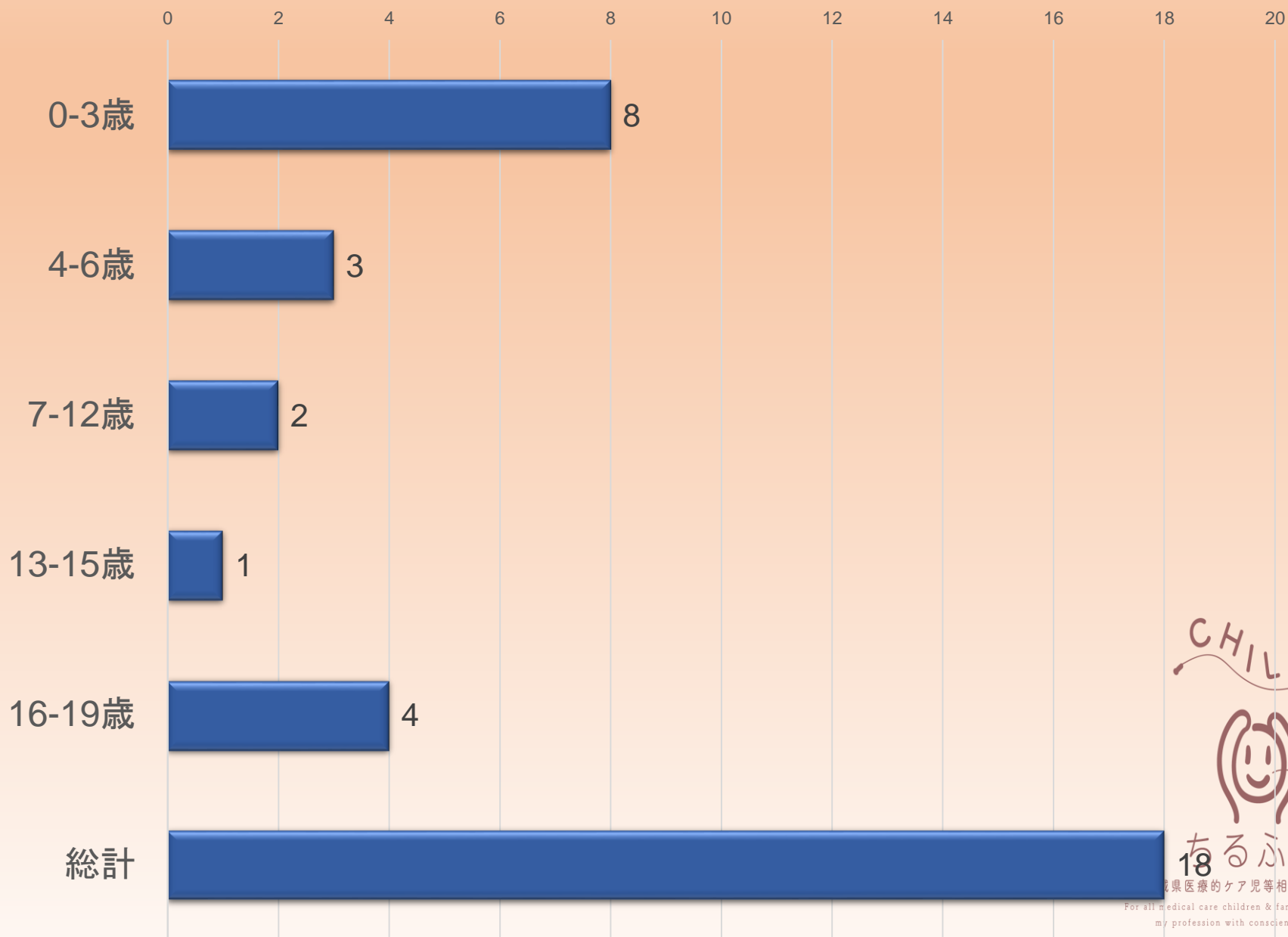


宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

仙南圏域



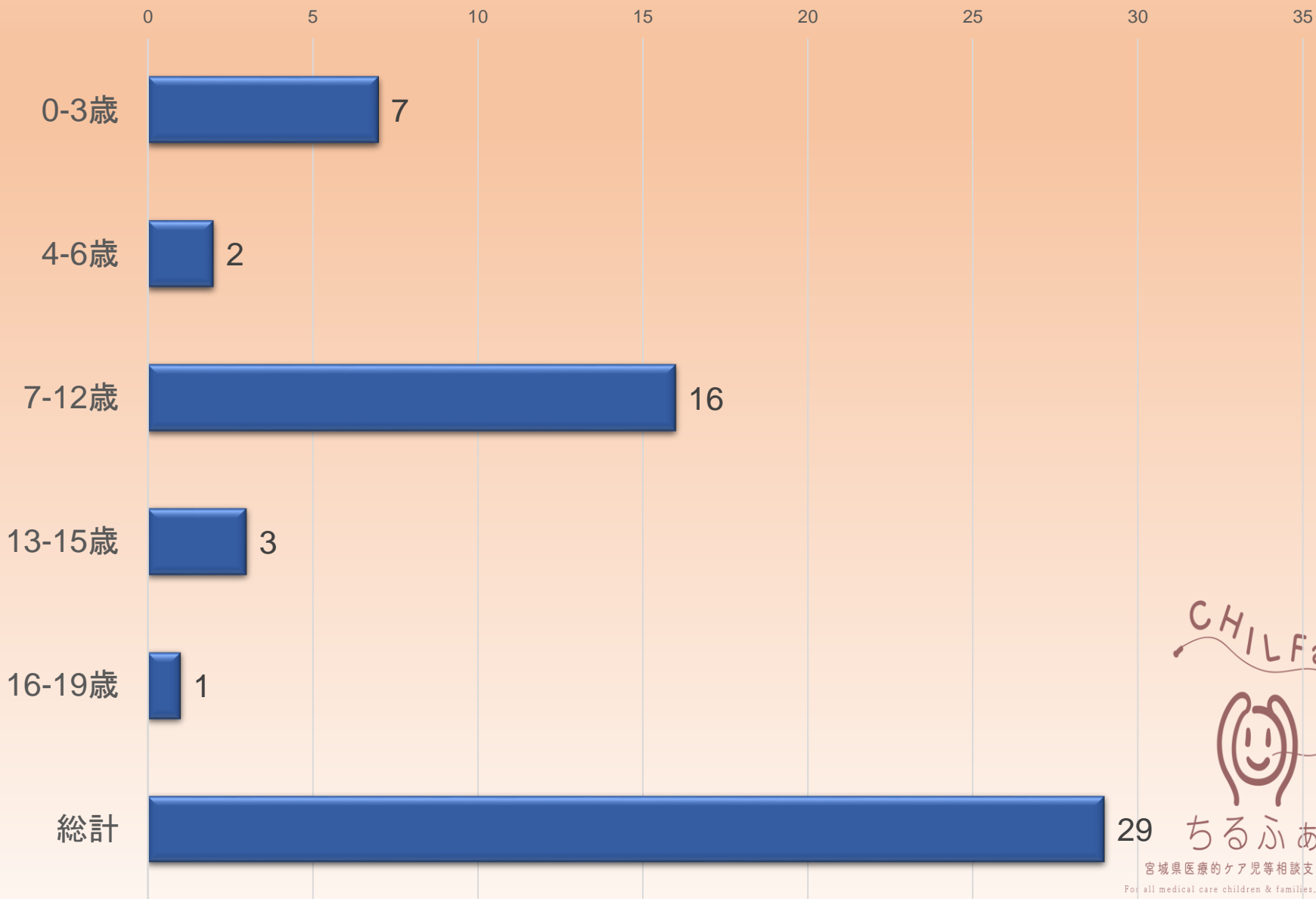
18 ちるふあ

宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

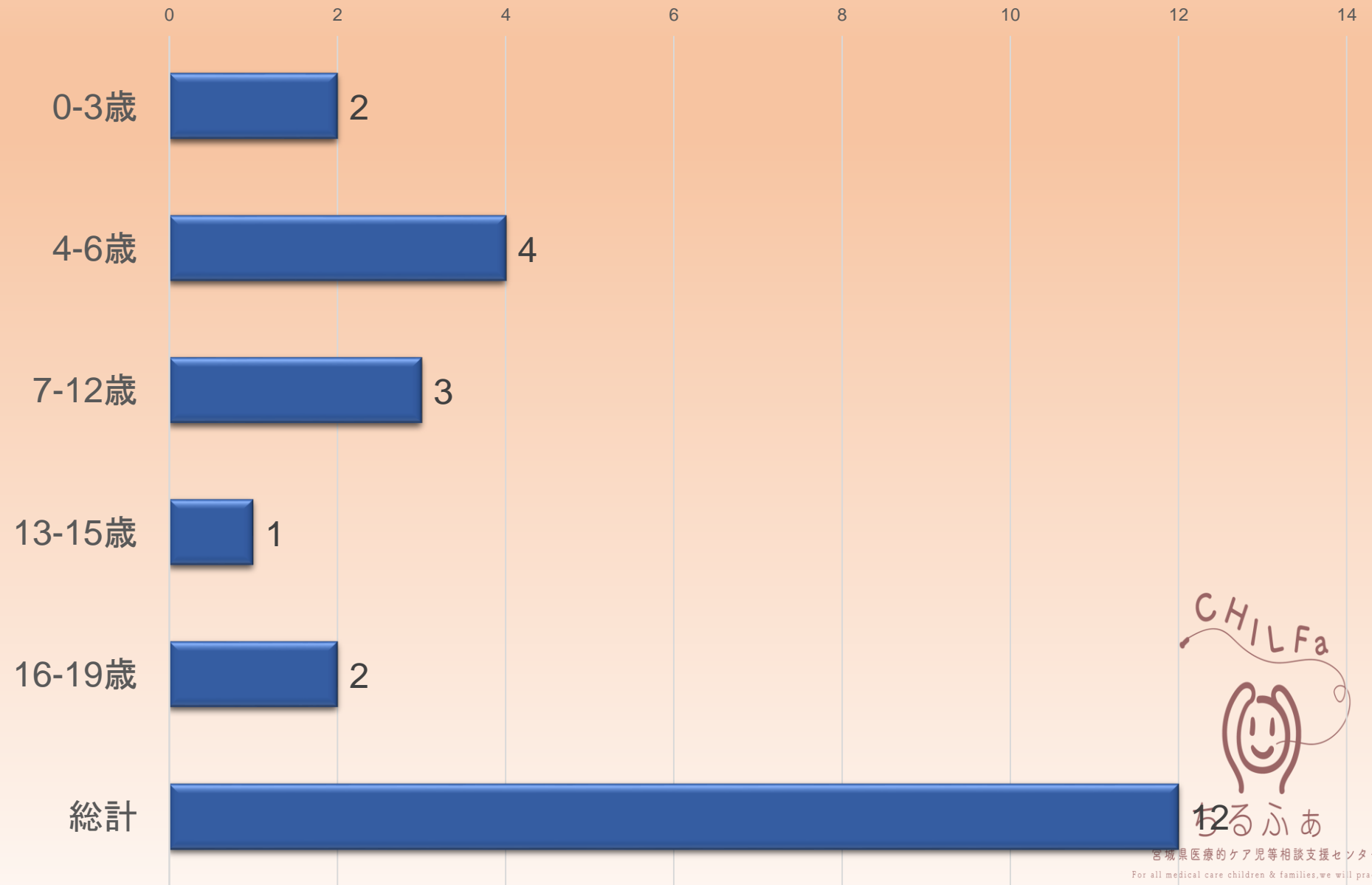
CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

大崎圏域

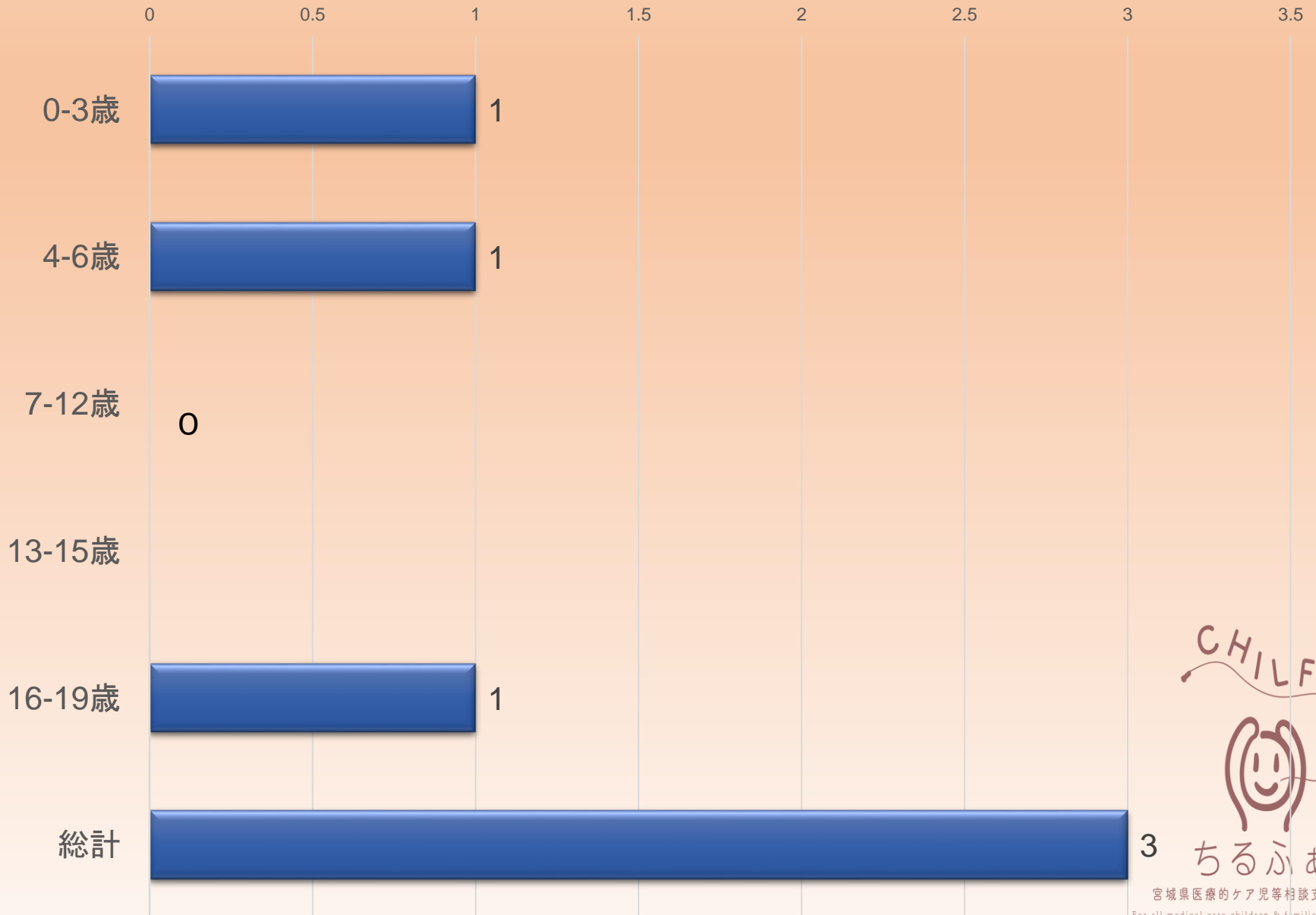


29 ちるふあ

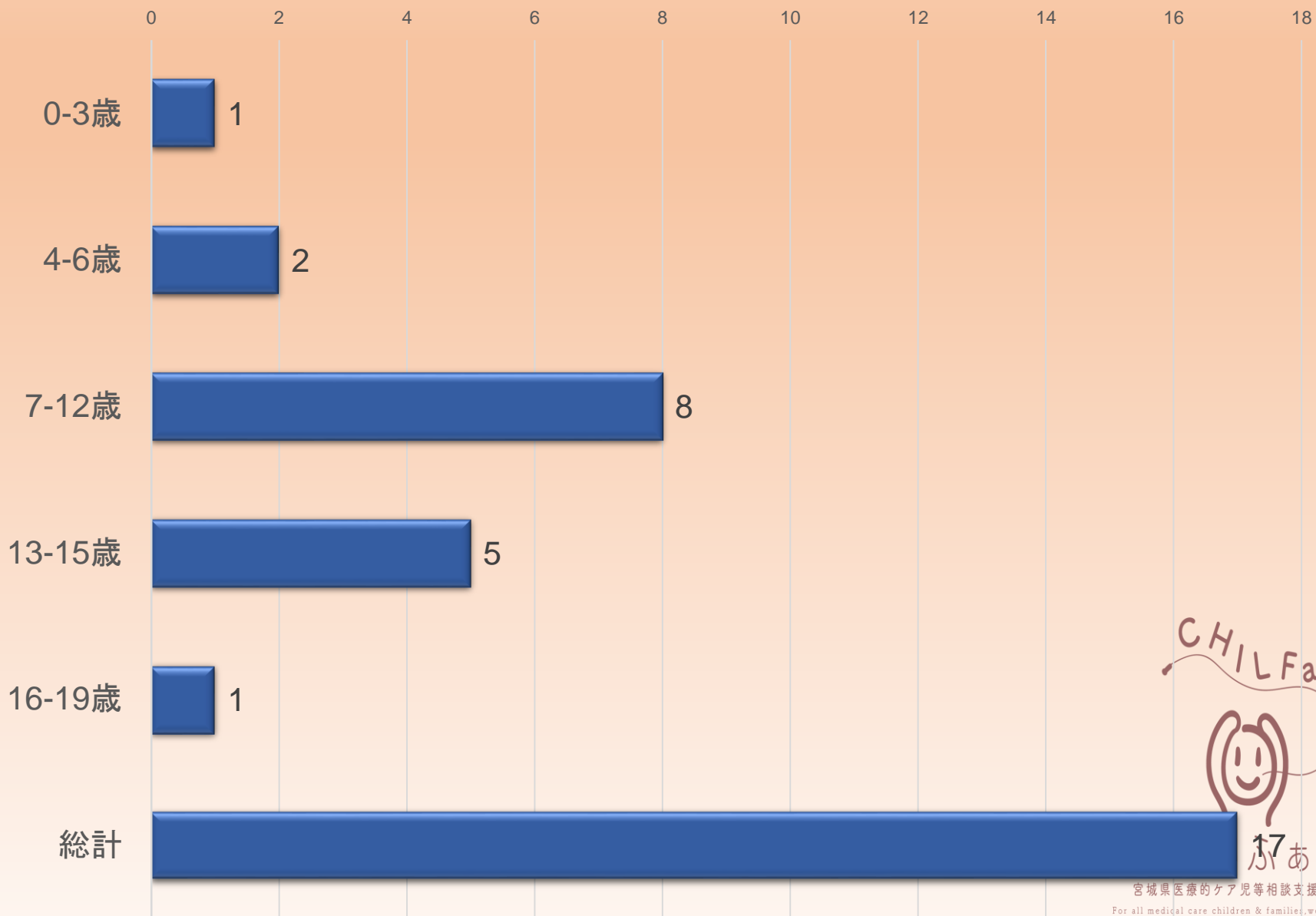
登米圏域



栗原圏域

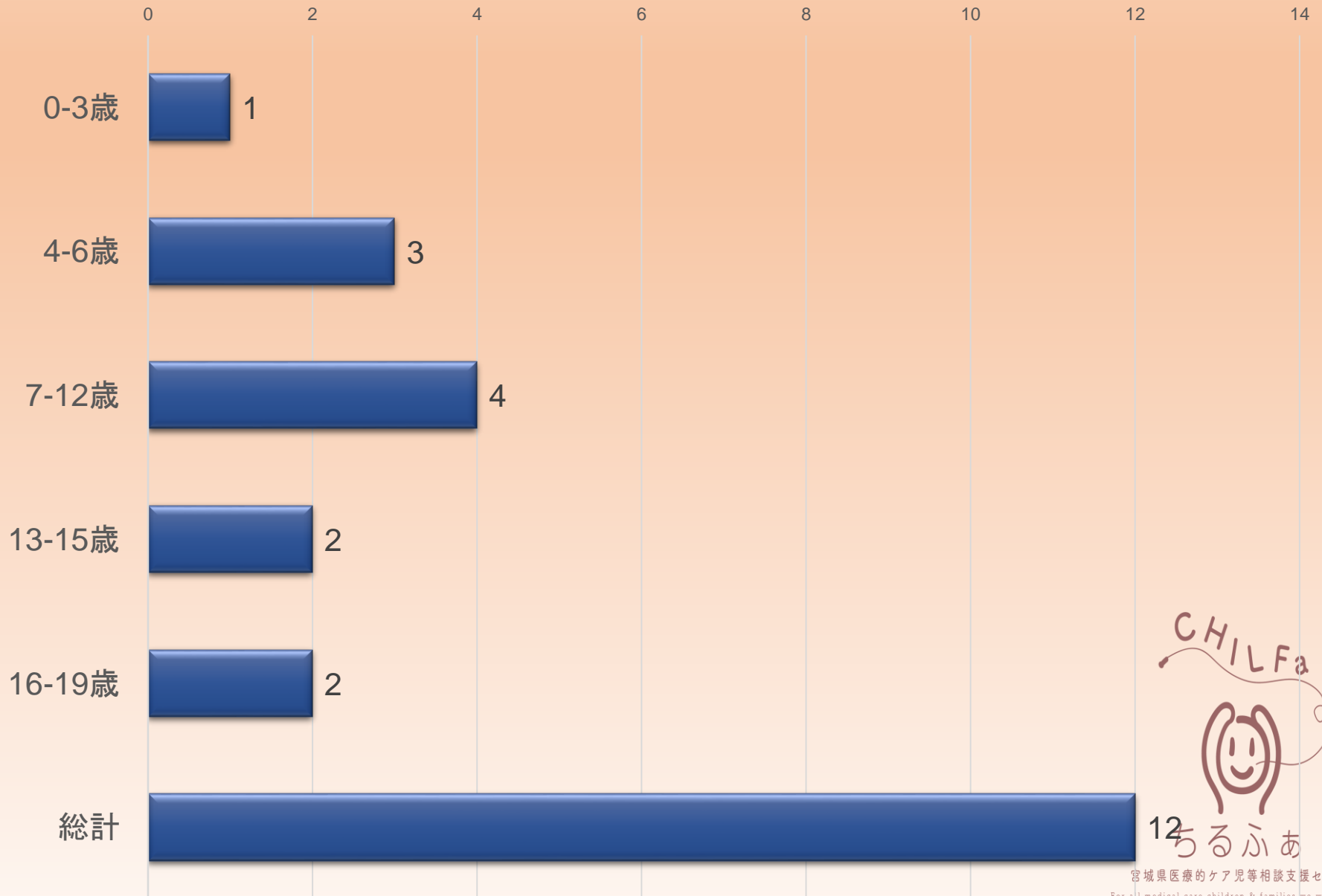


石巻圏域



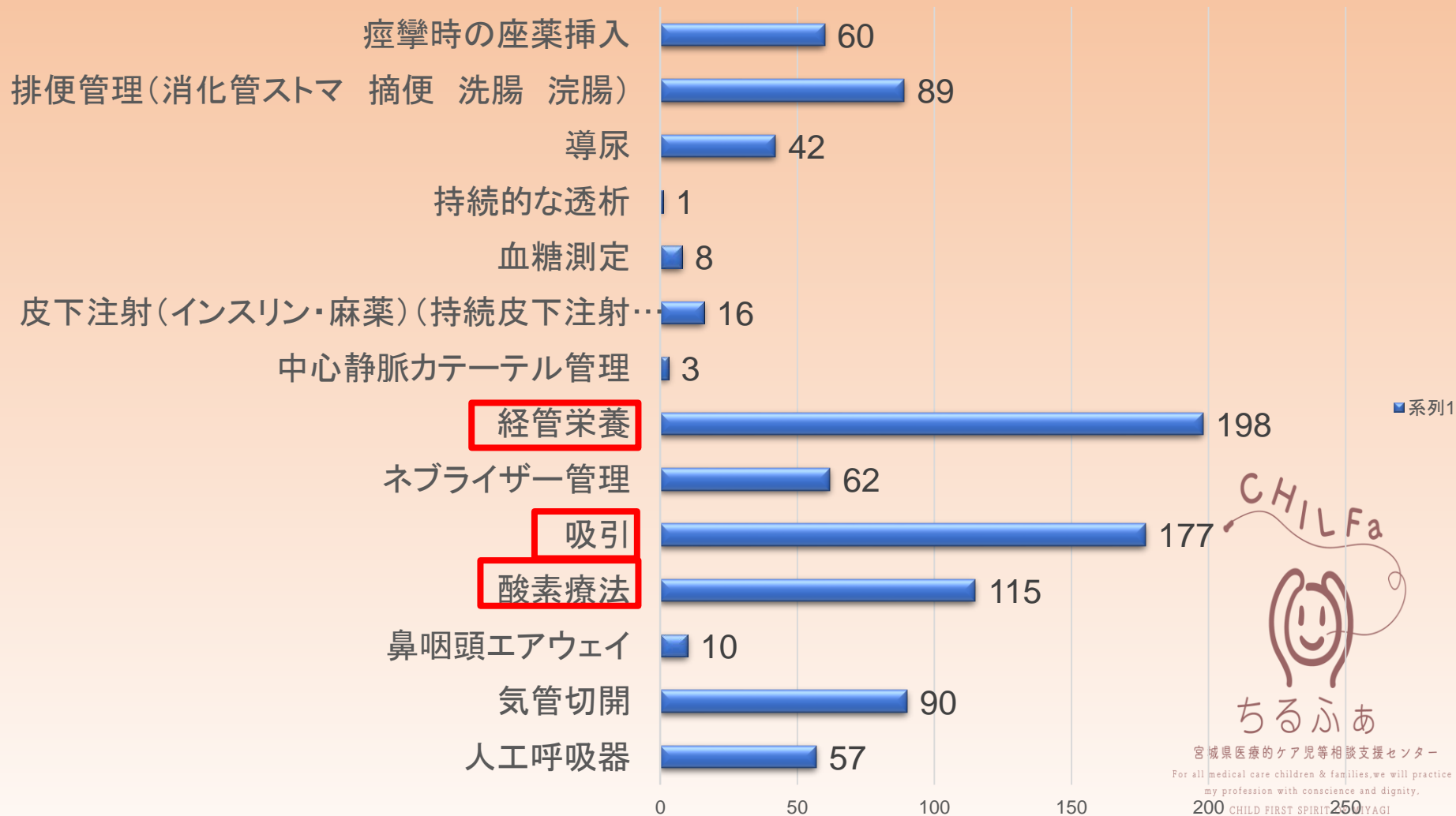
17
あ

気仙沼圏域

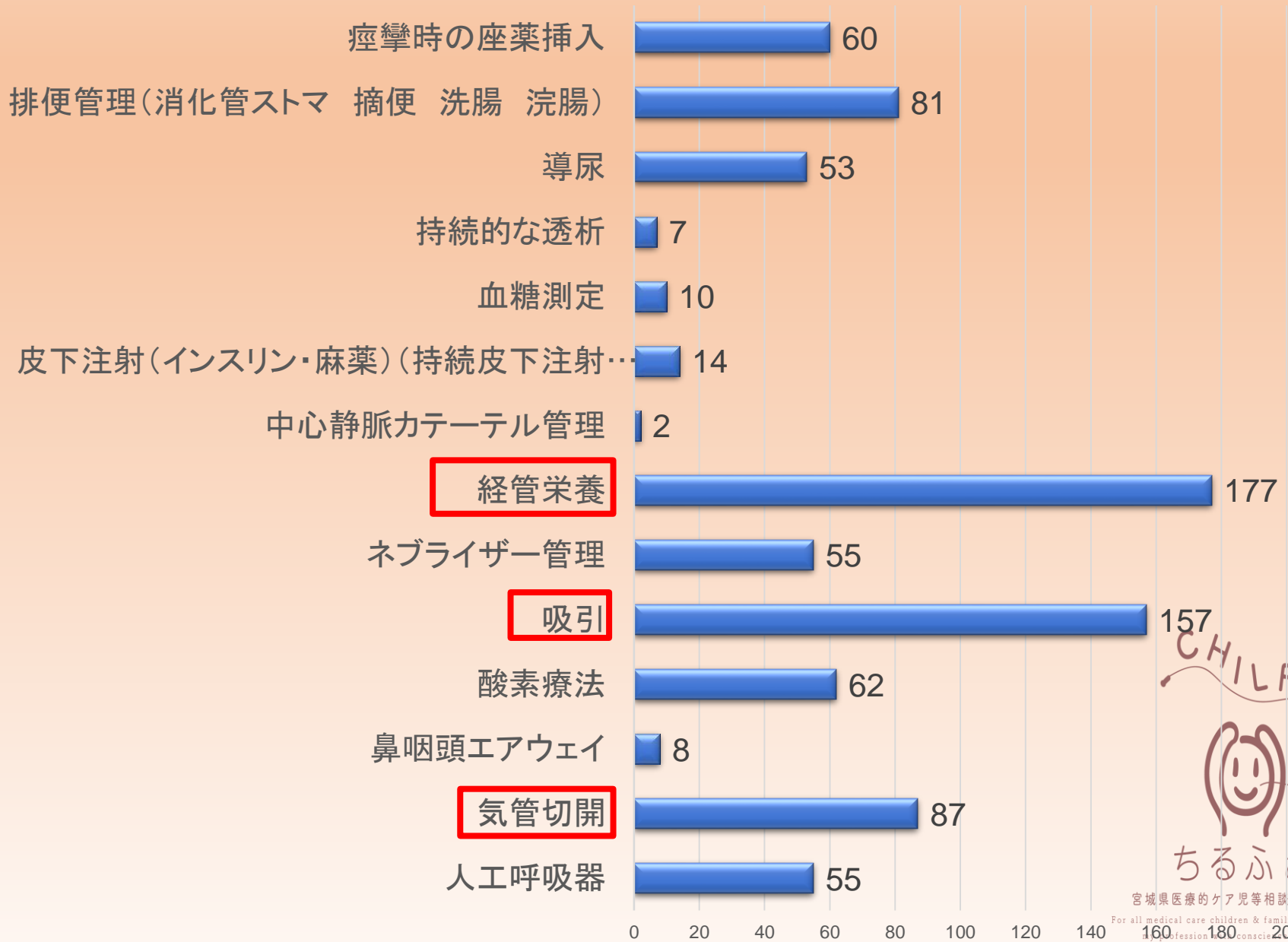


7. 嚥下機能障害がある場合に医療的ケアが増えている。 (国の調査と合致)

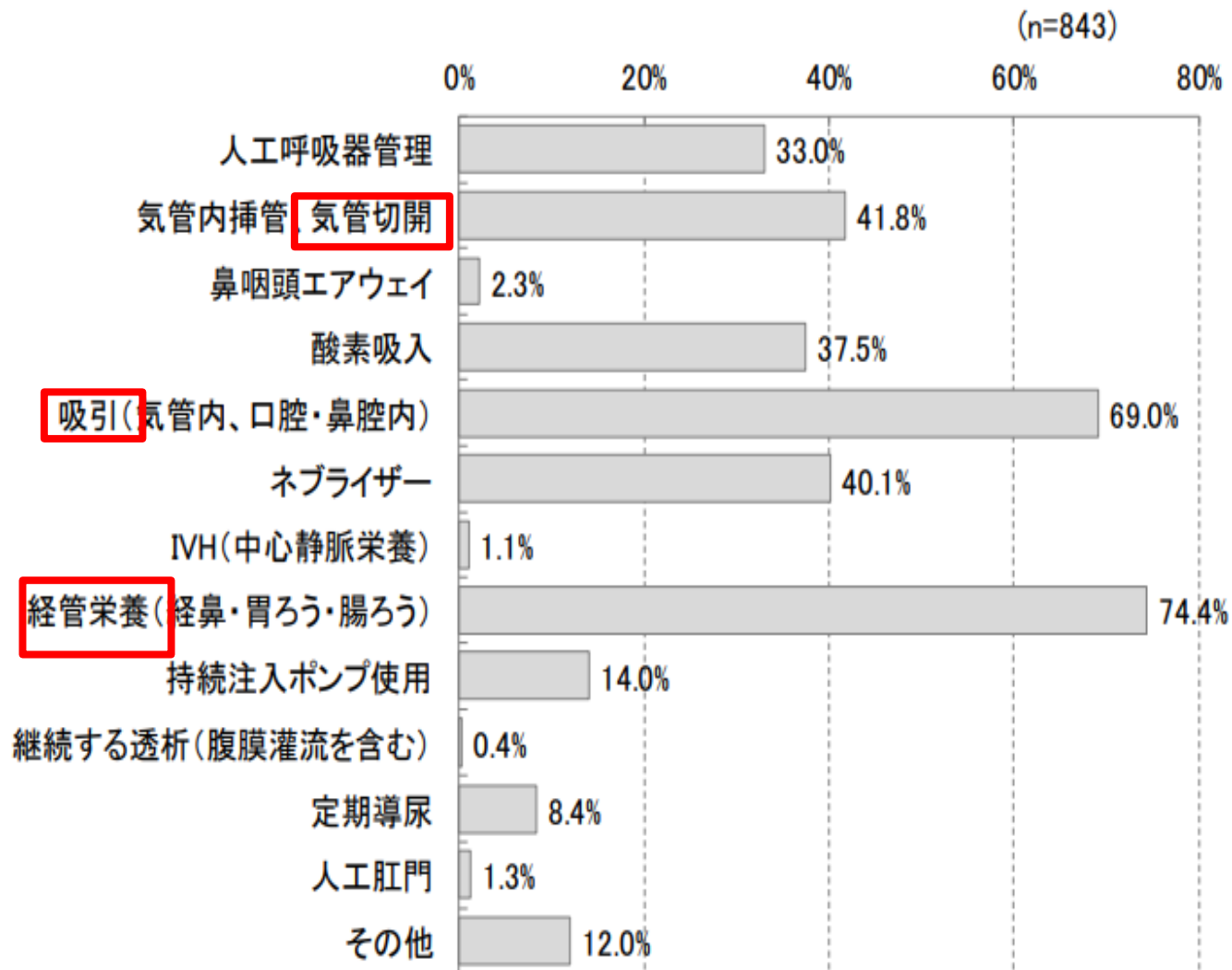
必要な医療的ケア(児)



必要な医療的ケア(者)



図表 37 必要な医療的ケア（複数回答）



(注) 「その他」として、「インスリン注射」、「血糖値測定」、「成長ホルモン注射」、「浣腸」、「膀胱ろう」等の回答があった。

8. 災害時支援

宮城県内市町村がハザードをマップを作成し備えている自然災害種別

- ・ 地震
- ・ 津波
- ・ 水害/土砂災害
- ・ 噴火
- ・ 原子力災害

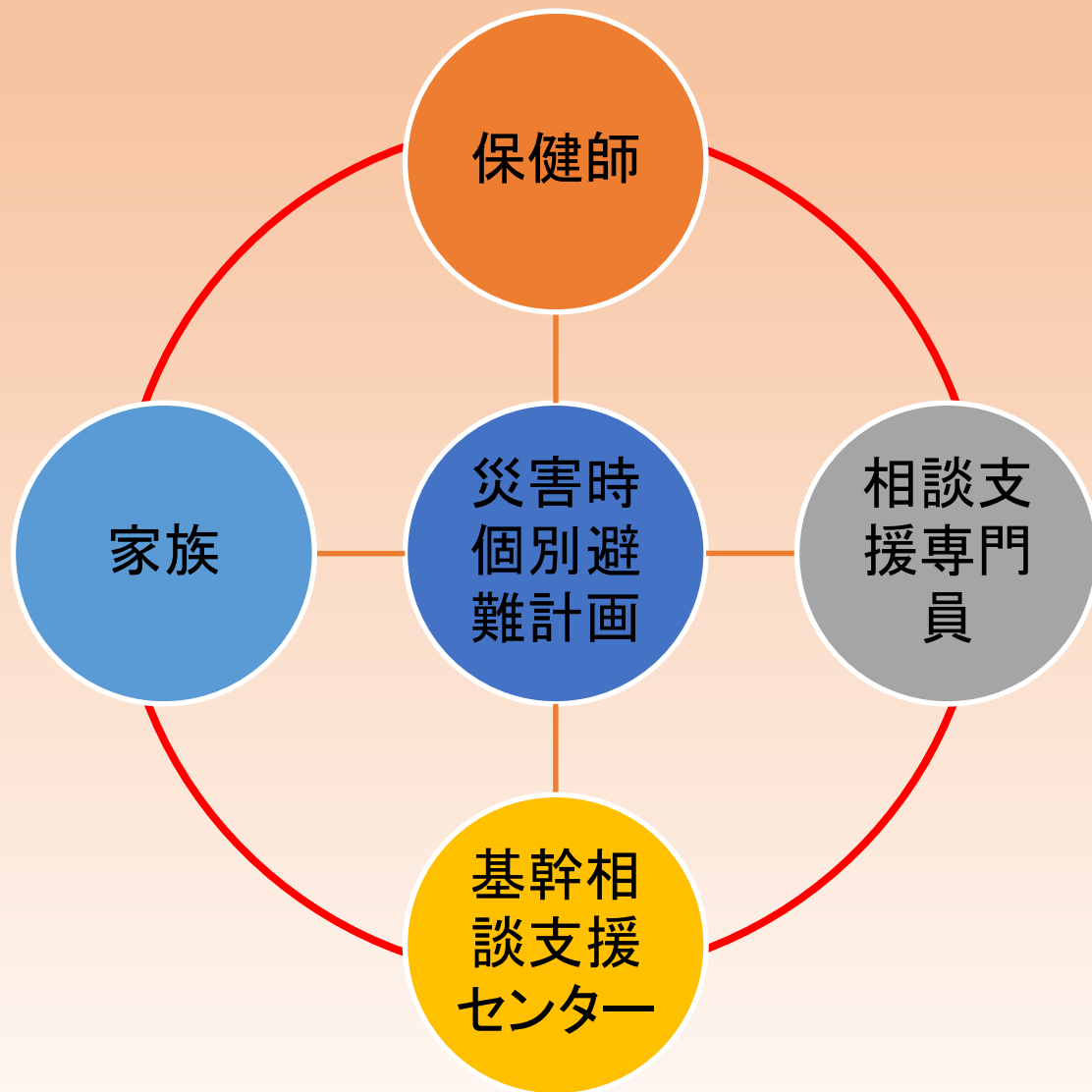
- ① 災害時個別避難計画の作成人数（令和3年努力義務化）
医療的ケア児 18名/333名 医療的ケア者 10名/301名
- ② ハザードマップ上の医療的ケア児者の把握について
51%（18/35）市町村が把握していると回答。そのうち67%（12/18）市町村は保健師が実数把握に参与している。
- ③ 災害時避難行動要支援者名簿作成状況（平成25年に市町村義務化）
殆どの市町村が作成している。しかし、希望制であることで当事者が希望しなければ名簿化できない。

CHILFa

災害時支援の課題

- ・ 個人情報に関する取扱い説明
- ・ 障害がある子どもが該当するという行政側の認識
- ・ 行政職員の人員不足が災害時支援対策に影響を及ぼす可能性がある

9. 取り組みやすい災害支援計画立案の方策



ちるふあ

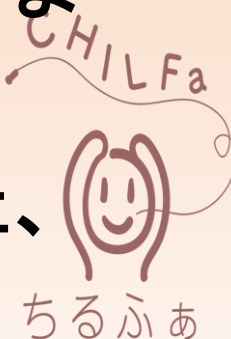
宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

10. 調査後の所感

1. ちるふあと市町村担当者の顔の見える関係の構築につながった
2. 実数把握を目標とした調査の意義、必要性を感じた
3. 調査を通じて県と市町村の連携体制構築の基盤づくりが進んだ
4. 実数実態を把握するためには、家庭状況をよく知る市町村保健師の役割が大きかった。
5. 社会資源が少ない地域において保育、福祉、教育の新たな受け入れが始まった。



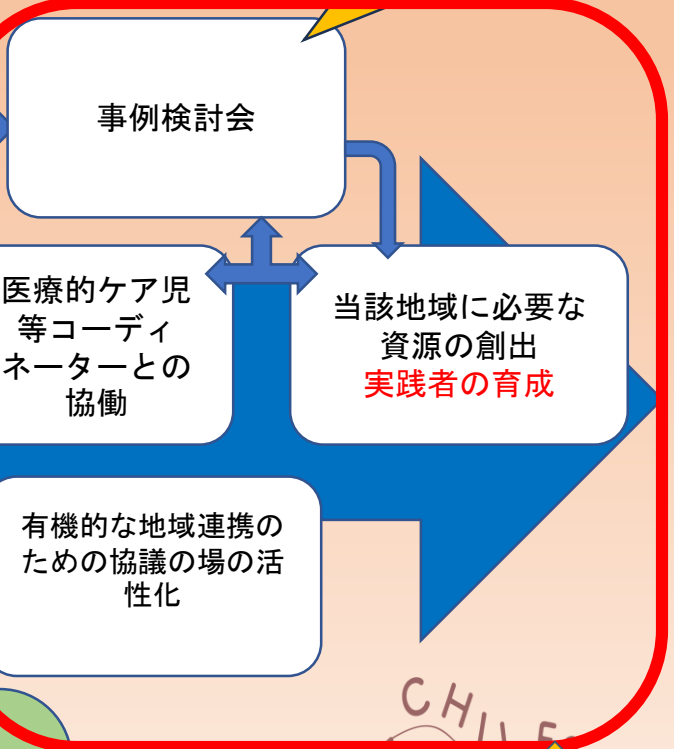
1 1. 宮城県医療的ケア児等相談支援センターのこれからの役割

第7期障害福祉計画や第3期障害児福祉計画とのリンク
中長期計画

I. 各種研修企画の運営
(知識を持つ人材)
ペアレンティング

標準的な知識の付与
(全体・職種研修)
医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修の実施

最新の動向
(全体研修)



II. 総合的専門的な相談

支援方法の選定
個別支援の丁寧な地域移譲

当該地域の課題の共有

医療的ケア児等コーディネーターとの協働

当該地域に必要な資源の創出
実践者の育成

III. 関係機関との連携・調整

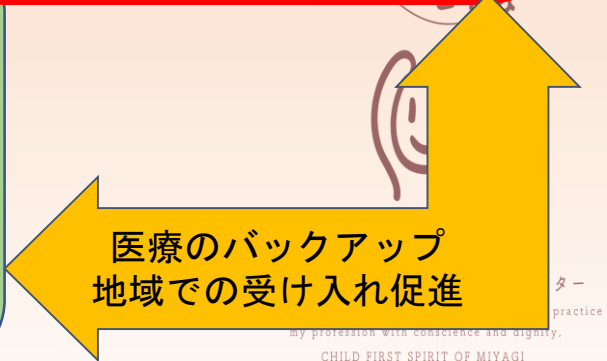
センターと各関係機関との連携
信頼構築

医療・福祉・教育の連携システムの構築

有機的な地域連携のための協議の場の活性化

IV. その他附帯業務
医療と地域の有機的な連携構築

- ライフステージに応じた医療体制
安心・安全な支援体制の整備
1. 健康管理
 2. 入退院支援
 3. 在宅移行支援
 4. 移行期医療
 5. 在宅医療を支える医療者との連携
 6. 生活に合わせた医療的ケア調整
 7. 圏域ごとの医療支援体制整備
 8. 災害時支援体制整備
 9. セーフティネットとしての計画相談



12. ちるふぁにおける相談に対する主たる役割

	初期対応	家族や支援者の訴えに対する傾聴	児の状態、状況の査定	家族状況の査定	在住地域の査定	児が活用する機関への支援
社会福祉士	○	○		○	○	○
看護師		○	○		○	○
理学療法士			○		○	○
保育士				○	○	○
事務員	○					

令和4年度相談実績 849件 当事者支援月平均42件

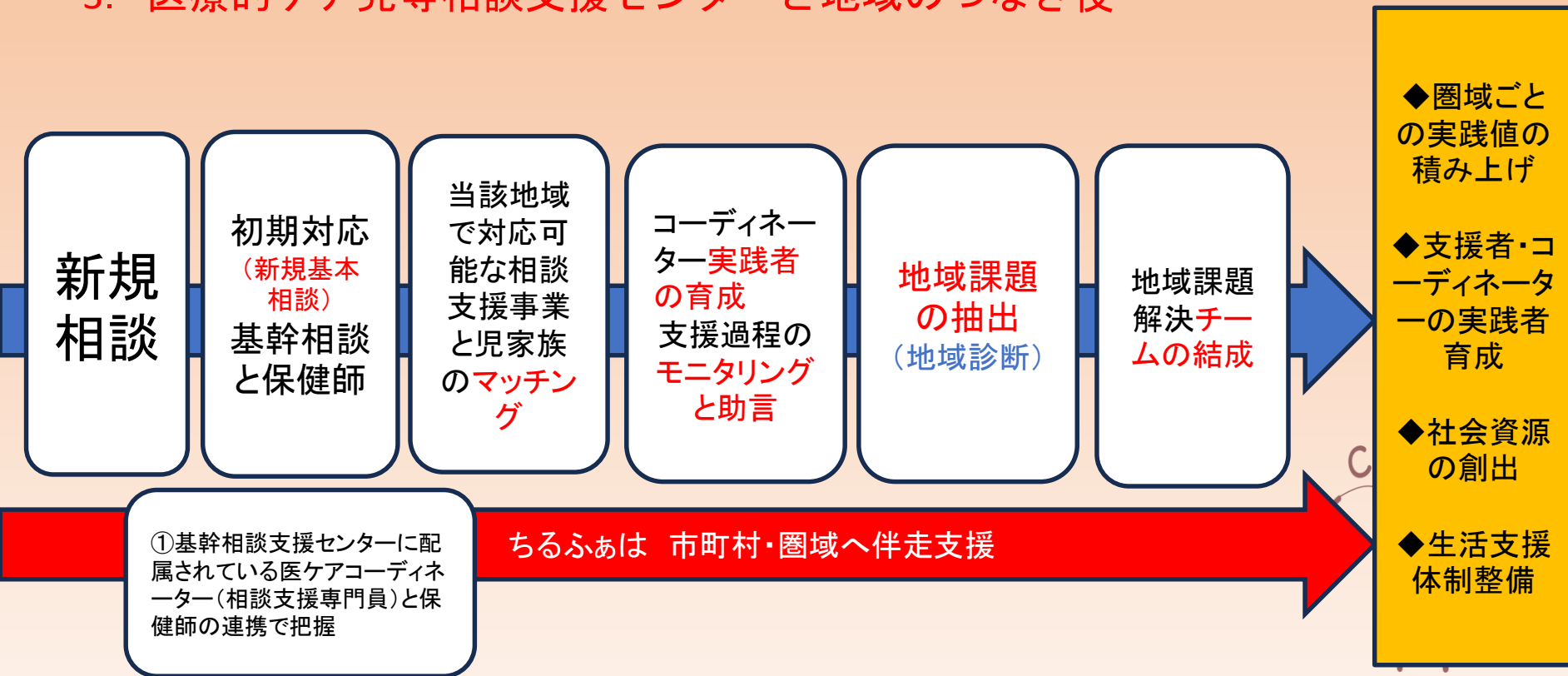
医療的ケア児とその家族が戻る地域の中で、同様の相談受け入れができる仕組みを基幹相談支援センターと協働し【ミニちるふぁ】を各圏域に作っていきながら、地域体制整備を進めていく。基幹に仕組みができ始めている地域では受け入れ体制が整いつつあり、その結果ちるふぁの支援件数の質が変化している。令和5年当事者支援月平均15.2件と減少。



1 3 . 基幹相談支援センターとの協働

基幹相談支援センターの役割

1. 医療的ケア児等コーディネーターの伴走役
2. 当該地域で支援チーム（圏域内の支援体制の整備）を創る
3. 医療的ケア児等相談支援センターと地域のつなぎ役



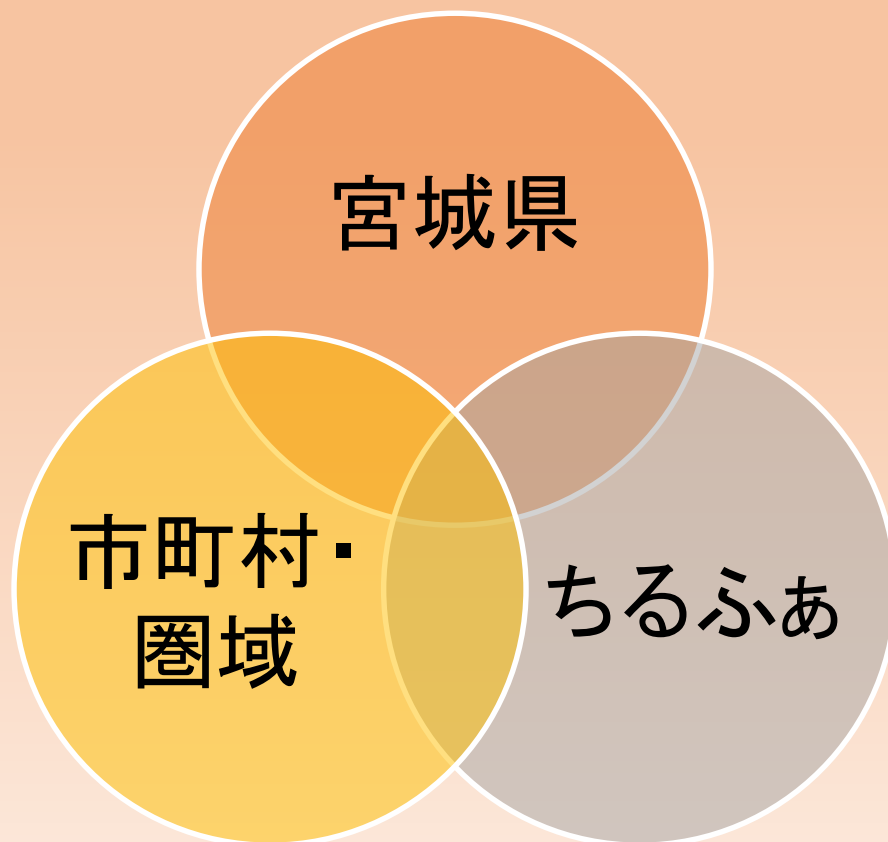
ちるふあ

宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI

共に未来を創る



当センターは、市町村、圏域との対話を通してこれからも各地域の持つ強みを活かせる支援を考えていきたいと思えます。

医療的ケア児支援の充実が、全ての子どもへのウェルビーイングにつながりますように。



ちるふあ

宮城県医療的ケア児等相談支援センター

For all medical care children & families, we will practice
my profession with conscience and dignity.

CHILD FIRST SPIRIT OF MIYAGI